

一令和5年度全国学力・学習状況調査一 気仙沼市の結果等について

令和5年10月 気仙沼市教育委員会



伸びる力を共に支え、

子どもたちの力を最大限に

子どもたちの伸びる力を信じ、持つ力を最大限引き出してあげられるように、学校と家庭・地域が手を携え、子どもたちの未来の夢、可能性を広げましょう。



保護者の皆様に今年度実施しました全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。調査結果とともに浮かび上がる学習・生活面等の課題について、学校と家庭が情報を共有し、一体となって改善・充実に取り組みたいと強く願っております。今後も本市が目指す教育についてお伝えしていきますので、保護者の皆様の御理解と温かな御協力をお願いいたします。

1 調査の概要

- (1) 調査実施日 令和5年4月18日(火)
- (2) 調査対象 小学校第6学年全児童(14校:350人)、中学校第3学年全生徒(10校:393人)
- (3) 調査内容 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)、児童生徒質問紙調査(生活や学習意欲に関する内容)

2 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査結果(平均正答率の3年間の推移)

*宮城県は仙台市を除く *英語は令和元年度から3年に1度程度実施。

| 対象 | 教科 | 年度 | 平均正答率(%) | | | | 宮城県との のかい離 (ポイント) | 全国との のかい離 (ポイント) | 対象 | 教科 | 年度 | 平均正答率(%) | | | | 宮城県との のかい離 (ポイント) | 全国との のかい離 (ポイント) |
|-----|----|----|----------|-----|-----|----|-------------------------|------------------------|-----|----|----|----------|-----|-----|----|-------------------------|------------------------|
| | | | 気仙沼市 | 宮城県 | 仙台市 | 全国 | | | | | | 気仙沼市 | 宮城県 | 仙台市 | 全国 | | |
| 小学校 | 国語 | R5 | 63 | 65 | 68 | 67 | -2 | -4 | 中学校 | 国語 | R5 | 68 | 68 | 73 | 70 | 0 | -2 |
| | | R4 | 62 | 62 | 65 | 66 | 0 | -4 | | | R4 | 70 | 68 | 71 | 69 | 2 | 1 |
| | | R3 | 61 | 62 | 65 | 65 | -1 | -4 | | | R3 | 66 | 63 | 68 | 65 | 3 | 1 |
| | 算数 | R5 | 55 | 58 | 62 | 63 | -3 | -8 | | 数学 | R5 | 45 | 44 | 53 | 51 | 1 | -6 |
| | | R4 | 56 | 58 | 62 | 63 | -2 | -7 | | | R4 | 43 | 45 | 53 | 51 | -2 | -8 |
| | | R3 | 65 | 66 | 70 | 70 | -1 | -5 | | | R3 | 55 | 52 | 60 | 57 | 3 | -2 |
| | | | | | | | | 英語 | R5 | 39 | 39 | 50 | 46 | 0 | -7 | | |
| | | | | | | | | | R元 | 51 | 50 | 58 | 56 | 1 | -5 | | |

(2) 児童生徒質問紙調査

① 比較的できている点

- ◇ 小中の児童生徒ともに国語の授業を好意的に受け止めています。
- ◇ タブレットを日常的に使用し、考えの交流や発表等での活用が広がっています。
- ◇ 生活リズムが概ね整っており、読書習慣が身に付いている児童生徒が多いです。
- ◇ 人の役に立ちたい、地域や社会をよくしたいという思いや意欲を持っている児童生徒が多いです。
- ◇ 問題を解決する力、発信する力が高まっています。

② 課題が見られる点

- ◆ 算数や英語の授業が今の生活や将来に役立つと感じている児童生徒が少なく、必要感が低いです。
- ◆ 学校以外での学習時間(家庭学習や塾等)がここ数年減少傾向にあります。
- ◆ 自己肯定感がここ数年高まっていますが、小中の児童生徒ともに依然として全国より低い値です。

3 調査結果で明らかになったことへの対策

これまでも学力向上のために様々な取組を行ってきましたが、改めて本調査で明らかになった児童生徒の実態における課題解決に向け、市教育委員会と学校が一体となって、今後、以下の対策に取り組んでいきます。

(1) 基礎的な学力の定着と活用する力・応用する力の伸長に向けて

- ・ 児童生徒一人ひとりの考え方を尊重し、考えをつなげたり、交流したりすることで新たな見方を見だし、考えが広がる授業づくりを進めます。
- ・ 授業や放課後学習等で、一人ひとりの習熟度に応じた個別選択課題に取り組みさせます。
- ・ 単元ごとや長期休業前、学年末等、定常的に振り返りと復習を行います。



(2) 学ぶ土台づくりに向けて

- ・ 児童生徒が落ち着いて学習に向かい、児童生徒の考えを生かした学級づくりを進めます。
- ・ 授業と関連付けた課題提示やタブレット端末を活用したドリル課題等と活用し、家庭学習の習慣化を目指します。
- ・ 規則正しい生活習慣の確立やスマホ等の適正な使い方について、御家庭の協力を得ながら進めます。
- ・ 読書の習慣化に向けて、学校図書の実質を推進します。

(3) 学習に関する環境づくりに向けて

- ・ 教科の専門性を一層高めるため、児童生徒の協働的な学習や教員協働の授業づくりが図られるよう、近隣校間や小中学校間、オンラインでの連携を進めます。
- ・ 1日あたり通常6時間授業を、1時間減らして5時間授業の日を多く設定することや教員支援体制の実質を検討し、教員が児童生徒と向き合う時間、教材研究や授業実践研修の時間確保に向けて工夫します。



4 望ましい習慣づくりに向けての合い言葉「はまらいんや」

学校と家庭が共に手を携え連携することで、お子さんの学力向上に向け、最大限の効果が発揮されます。家庭でのお子さんの生活習慣や学習習慣等の確立に向け、御協力をお願いします。

④ 早寝 早起き 朝ごはん…健やかな成長に土台づくり

朝ごはんを食べる子ほど学力も体力も高い傾向があります。
規則正しい生活習慣の確立を一層目指しましょう。



⑤ マイファミリールール…話し合ってみませんか我が家のルール

家族でルールを決めることは子どもたちを守ること、自立心を養うことにもつながります。
ルールの見直しをしながら、ゲームを適切に利用できる力（メディアコントロール）等を身に付けさせましょう。

⑥ ライバルは昨日の自分…頑張るお子さんに励ましの一言を

学校では、タブレットドリルの活用や授業と連動した家庭学習などの工夫をし、家庭学習の質の向上を目指します。取り組んでいる様子を見守り、時には励ましてください。

⑦ 印象に残る一冊…時には親子で肩を並べて読書

読書は読解力や表現力、感性などを高めます。本や新聞を読む機会や時間を確保しましょう。

(以上のことを)

⑧ やってみよう そして やり抜こう…無理は続きません 習慣になるまで

「我々自身は繰り返し行っている行動により作られる。したがって優秀さは行動ではなく習慣によるものだ。」
古代ギリシャの哲学者アリストテレスの名言

